

まめでが～んす ～ 今日も元気ですよ ～

広島市立安佐市民病院広報紙

—第12号—

〒731-0293 広島市安佐北区可部南二丁目 1-1

TEL : 082-815-5211 (代)

<http://www.asa-hosp.city.hiroshima.jp>



副院長 多幾山 渉

平成19年初頭にあたって

お祈り申し上げる。お陰様で、今年も元気に迎えます。本年は、広島市立安佐市民病院の開設25周年を迎えます。この機会に、地域の皆様と連携し、より良い医療サービスを提供するために、様々な取り組みを行います。また、地域の医療ニーズに応じ、地域医療の充実を図ります。本年は、地域の皆様と連携し、より良い医療サービスを提供するために、様々な取り組みを行います。また、地域の医療ニーズに応じ、地域医療の充実を図ります。

入院治療が必要な患者様の病気の急性期、手術後の回復期、療養期の治療を行います。また、地域の医療ニーズに応じ、地域医療の充実を図ります。本年は、地域の皆様と連携し、より良い医療サービスを提供するために、様々な取り組みを行います。また、地域の医療ニーズに応じ、地域医療の充実を図ります。

安佐市民病院は 病院機能評価認定病院です。



安佐市民病院の 理念と基本方針

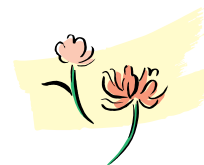
理念

- ・愛と誠の精神をもって医療を提供します。
- ・地域の基幹病院として高度の医療・ケアを行います。

基本方針

1. 患者さまの立場を尊重し、理解と納得 にもとづいた医療を行います。
2. 安全な医療と快適な療養環境の提供に努めます。
3. 地域と連携し、地域医療、救急医療、トータルケアの水準の向上に努めます。
4. 最新の医療にとりくみ、医療・医学の進歩に貢献します。
5. より良い医療サービス提供のため、健全な病院運営に努めます。

病院倫理委員会について



病院長 日高 徹

病気腎臓の移植が問題になっています。手術で取り出した腎臓や、病気のある腎臓の悪い所を除いて他の人に移植すること自体、人工透析に苦しんでいる人を一人でも救うという医師として気持ちはよくわかります。問題はその治療の内容が、移植を受ける人や腎臓をとる人に十分説明されていたかどうかです。本当に患者さんのためと思って行われる医療でも、患者さんの理解と同意がないと行ってはいけないと思います。そして、一部の医師グルー

プ内であたかも秘密裏におこなわれたような印象がぬぐえないことです。各病院での倫理委員会でも審議されたという報道が見あたりません。

広島市立安佐市民病院では、患者様の人権を尊重した医療を行っています。そのために、院外委員を含めた倫理委員会を2ヶ月に1回開催して、問題のありそうな医療に関して慎重に審議しております。内容は、主に治験（新しい薬の効果や安全性を確かめる試験）や、実際に効果のあることが確認されているにもかかわらず、保険上認められていない治療法などについて審議をしています。そして、患者様の人権が守られていることを確認した場合にのみ、倫理委員会として許可を出しています。

医療はすべて、患者さまのためになることを目指して行っています。しかし、医学はいまだ未完成な学問で、多くの患者様が病気で苦しんでいるのも事実です。その意味で、われわれ医療に携わるものはたえず、医学の進歩に努力しなければなりません。

医学の進歩のために、新しい薬や治療法の開発に協力することも公的病院である広島市立安佐市民病院の一つの役目と考えております。倫理委員会では新しい薬や治療法の開発が患者様にとって不利益とならないよう、慎重に審議しておりますので、是非、ご理解頂きたいと思います。



MRI(磁気共鳴断層撮影装置) 1.5T(テスラー)



MRI(磁気共鳴断層撮影装置)とは

強い磁石と特殊な電波を使用し人体内部の構造を鮮明に見ることの出来る装置で、超伝導磁石と高性能コンピューターを用いた最新の医用画像診断装置です。

頭部領域の疾患や整形外科領域、腹部領域、循環領域など全身の各部位の診断ができます。

最新MRI(磁気共鳴断層撮影装置)の特徴

最新1.5T MRIは以下のような特徴を備えた装置です

- 急性期の脳梗塞を撮影することが出来ます（写真2）
- 頭部の神経走行を描出できます(トラクトグラフィー、ファイバートラッキング)（写真3）
- 心臓の筋肉を撮影でき、動きや心筋の状態を診断できます
- 両側の乳房を撮影できます
- 胆のう、胆管、膵管を造影剤の注射なしで撮影できます(写真4)
- 体幹部における拡散強調画像によりP E T同様の画像が得られ、腫瘍部分を描出することが出来ます（写真5）

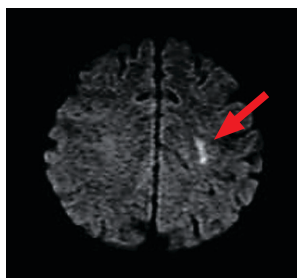


写真 2

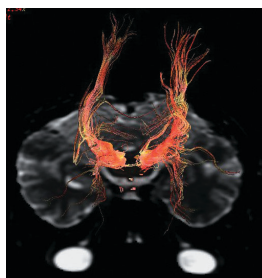


写真 3

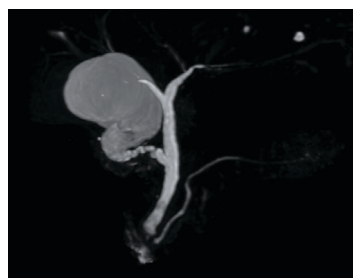


写真 4

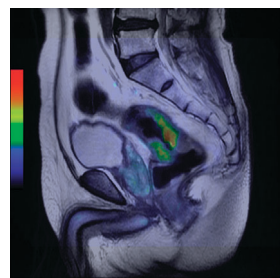


写真 5（赤色部分が腫瘍）

検査の注意

装置の磁石も強力なため、金属の持込や心臓ペースメーカーなどの装着者は入室および検査はできませんので注意してください。



パ節に関しては、センチネルリンパ節生検（乳がんが最初にたどり着くリンパ節をさがし、転移の有無を調べる方法）を行なって転移の有無を調べていますが、転移がない場合は、リンパ節郭清を省略しています。

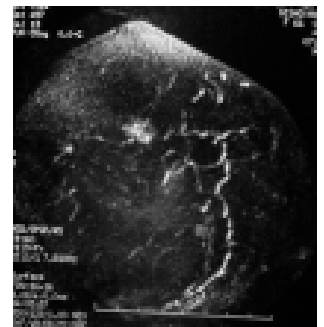
【当院での取り組み】

1) 患者様の不安の軽減と「和みの会」

入院から退院までのスケジュールを記したクリニカルパスや治療に関する質疑応答集を作成し、患者様の不安の軽減に努めています。

さらに、手術後も継続して、治療や通院をされる患者さまの闘病意

欲向上・医学知識の習得・気分転換を目的として、平成9年より年1～2回、当院で、乳房の手術を受けられた方の患者会“和（和み）の会”を開催、毎月第3水曜は、“元気の会”として術後早期のかたを主として対象とし、医師、看護師、薬剤師、栄養士、“和（和み）の会”の会員の方に参加していただいて、症状、治療法に関する悩みの相談を行っております



MRI検査によって病巣の範囲が小さいと判断される乳癌。白く映っているのが乳癌病巣。

2) 臨床試験

乳癌の治療では臨床研究が非常に重要な役割をもっています。当院では現在、乳癌補助療法研究グループ(N-SAS-BC)と日本臨床研究グループ(JCOG)、またBIG (Breast International Group) のメンバーであるJBCRG (Japan Breast Cancer Research Group) に参加し、より有用な術前治療および術後補助療法そして再発時の治療方法の確立のための臨床試験を遂行しています。

3) 資格

当院は、乳癌学会認定施設で、乳腺専門医の久松が診療をおこなっています。乳房の病気を疑われる方は、ぜひ当院外科外来を受診してください。



乳癌治療症例数

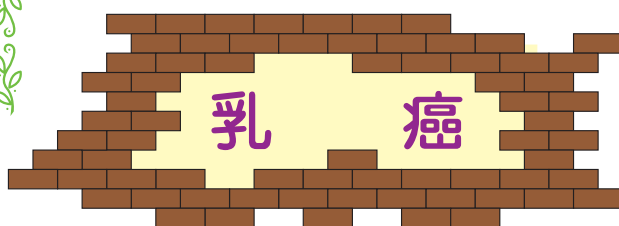
（その年に始めて手術をおこなった症例数、再発症例は除く、異時性両側例をふくむ）

〔年度〕

	1995	96	97	98	99	2000	01	02	03	04	05
手術例数	35	60	73	65	62	74	63	77	83	89	89
温存術例数	10	19	36	37	33	50	48	68	67	74	77
温存の割合(%)	29	32	49	57	53	68	76	88	81	83	87

2006年5月時点での、温存乳房内再発は、16例(3.1%)

（追跡期間中央値48月：6-132ヶ月）です。



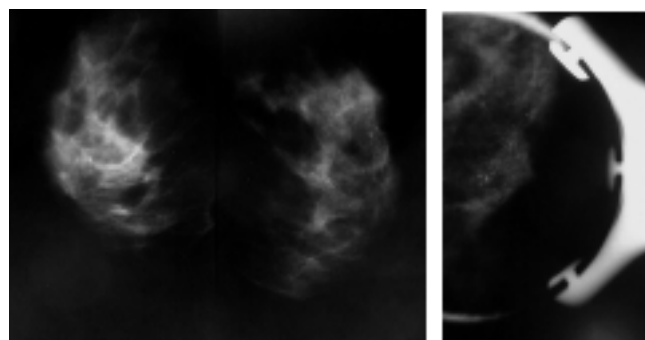
外科 久松 和史

乳がんは最近増加している病気で現在日本人女性の22人に1人になるといわれています。乳がんになることを完全に予防することはできません。乳がんというこわい病気を思いうかばれるでしょうが、早期に発見すれば治る可能性が高い病気です。そこで大切なのは早期に乳がんを見つけることです。そのひとつが、マンモグラフィ検診です。

【早期乳がんの発見】

1) マンモグラフィ検診

現在、40歳以上のかたを対象に、2年に1回、マンモグラフィという乳房のレントゲンを受けることが、勧められます。マンモグラフィは、しこりを触れない乳がん（微細石灰化病巣や小さな乳がん）など、多くの早期乳がんを発見できます。



マンモグラフィでみつかる石灰化病巣

【病院での検査、手術】

1) 超音波検査、細胞診

マンモグラフィ検診で異常があったかたや、乳癌疑いのある患者様は受診が必要です。乳がんの診療は婦人科ではなく、外科でおこなっています。触診、乳房レントゲン検査（マンモグラフィ）を行ない、異常があれば、超音波検査、超音波ガイド下吸引細胞診（針を刺してしこりの細胞をとって調べる方法）を行ないます。

2) ハンディマンモトーム生検

それでも診断がつかなくて乳がんを疑われる病巣に対しては、病巣を切りとって調べる組織検査が必要です。以前は、病巣を広い範囲で切り取って組織検査をしていましたが、新しい組織診断方法として2002年9月にハンディマンモトームを導入。診断が困難な病巣に対して、超音波ガイド下に組織を切除し診断しています。この方法で行なうと、小さな傷で多くの組織が取れます。



ハンディマンモトームの機械

3) 手術

乳がんの手術は、乳房を残す乳房温存術が標準的な手術術式です。乳房温存術は、CTやMRIにより病巣の進展範囲を正確に把握したうえで切除範囲を決定し、また術中にも超音波ガイド下に範囲を確認しながら、病巣を最小限かつ正確に切除しています。乳癌が転移しやすい腋窩リン

●●● 安佐市民病院からのお願い ●●●



ご面会についてのご案内

ノロウイルス、インフルエンザの流行期間です。
入院患者様は感染を受けやすい状態にあります。

下痢・嘔吐、咳・痰・鼻水などの症状がある方のご面会はお遠慮下さい

- ・ ご面会の方は、なるべく、マスクを着用して下さい。
- ・ 面会前後に、病棟設置の消毒剤を手指に十分擦り込むよう、お願い致します。



※マスクは売店・1階の自動販売機で購入できます

広島市立安佐市民病院 感染対策委員会

敷地内全面禁煙のおしらせ

たばこは「百害あって一利なし」

平成15年5月に施行された健康増進法には受動喫煙防止が規定されています。

安佐市民病院では市民のみなさまの健康増進、患者様や来院者の受動喫煙害を防止し、健康で快適な療養生活を確保するために敷地内全面禁煙とする禁煙運動を展開しております。ご協力よろしくお願い致します。

敷地内禁煙



平成16年1月1日から実施します。ご協力をお願いします。